



# 卓 話



## 「イニシエーション・スピーチ」

—私の履歴書—

出井 武泰 会員

父は岡山市議会議員をしていましたが、当時母が「電信柱にまで頭を下げるのは嫌。政治をとるか私をとるかどちらかにしてちょうだい」ということで東京に出てくることとなりました。



昭和42年10月新宿区に生まれ、小学生の頃に父が割烹料理屋を始めますが大失敗し、それでは「もっと安くて、いつもお店はお客様で一杯になるような店を作りたい」ということで、大衆酒場「庄助」が生まれました。

15歳のころ、仲間とサーフィンを始め、18歳の時に学生チャンピオンになり、プロのサーファーを目指して、バリ島からオーストラリアに渡り、アルバイトをしながら2年間環太平洋を巡りましたが、結局断念して帰国。大学卒業後にヤオハンに入社し、そこで上司に陰ながら私を評価していただいたことに感銘を受け、「男は仕事だ」という意識をもつようになりました。そのヤオハンを退社し、モス

フードサービスに入社後、一番厳しい店長の下で仕事に対する姿勢を学ぶ事となりますが、父が経営するFCモスが経営の危機に陥っていることを上司から聞かされ、翌日より自店の再建に奮闘して1年半無我夢中で働きましたが、他のモスオーナー達との確執にぶつかり、モスフードサービスを退社することを決意しました。その後「庄助」本店ビルの建替えを手がけ、又居酒屋「庄助」を新たに女性をターゲットにした、ワインとおでんの「庄助」に創り上げ、大ヒットとなりました。そして近辺の土地や建物を購入して多店舗展開をし、現在の「庄助」グループを作り上げました。

本店ビルの建替え後8年間、趣味のサーフィンをやめていましたが、去年の夏に旧友達に誘われたことをきっかけに再開し、又先日岩野さんよりゴルフクラブを頂いたので、来月よりゴルフスクールに通い始めようと考えています。この10年間、休暇も取得せず仕事一筋で頑張ってきましたので、今後は出来る限りサーフィンやゴルフ等の趣味を続けながら人生を楽しんで生きていきたいと思っています。

最後に岩野さんに誘っていただき、そして、ロータリークラブのお仲間に入れていただき、また、皆様にとっても優しくしていただき、大変感謝しております。出来る限り参加し、社会活動にも協力して参りたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。